

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	精索軟部肉腫の国内実態調査 日本サルコーム治療研究学会多施設共同研究(JSTAR002, SPARC study)
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2010年1月1日～2025年12月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センターの骨・軟部組織腫瘍科およびJSTAR参加施設を受診し、精索軟部肉腫と診断され、治療が行われた18歳以上の患者さんを対象としております。
③ 概要	精索に発生する腫瘍の約30%が悪性腫瘍で、悪性では軟部肉腫が最も多いとされています。軟部肉腫の治療としては広範切除という手術による治療が最も大事となります。しかし、海外では術前に生検が行われていないことから不適切な手術が行われることにより、再発が多くみられ、生存率も低くなっている。国内では精索発生軟部肉腫は泌尿器科・外科・整形外科などの様々な科で診療されており、その治療実態は明らかではありません。今回、国内の診療実態を複数の科に跨って、調査することで診療実態を明らかにしようとしています。
④申請番号	C2026-0068
⑤研究の目的・意義	精索軟部肉腫は極めて稀な悪性腫瘍で、国内での診療実態は不明です。今回の目的は精索軟部肉腫についてJSTAR参加施設で多施設共同研究を行い、先ずその国内における診療実態を明らかにすることです。国内における精索軟部肉腫の診療実態が明らかになることで、今後必要な対策を立案することが可能となり、同疾患の治療成績向上につながると考えられ、臨床上大きな意義があると考えられます。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2030年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	提供していただく情報については、氏名を消す代わりに研究用の番号をつけて管理し、その情報だけでは誰のものかわからない状態で利用します（いわゆる匿名化）。本研究では埼玉医科大学国際医療センターに情報を提供します。情報を提供する際にはセキュリティの担保されたクラウドストレージを用いて転送し、受領確認を行った後にクラウドストレージ上のデータを削除することとしています。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	診療記録、画像データ、病理診断
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。 新潟大学 整形外科 川島寛之 共同研究機関：埼玉医科大学国際医療センター 骨・軟部組織腫瘍科・整形外科 鳥越知明

⑩ 試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 整形外科 川島寛之 共同研究機関：埼玉医科大学国際医療センター 骨・軟部組織腫瘍科・整形外科 鳥越知明
⑪ お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学整形外科 氏名：大池直樹 Tel：025-227-2272 E-mail：naoki-oike@med.niigata-u.ac.jp